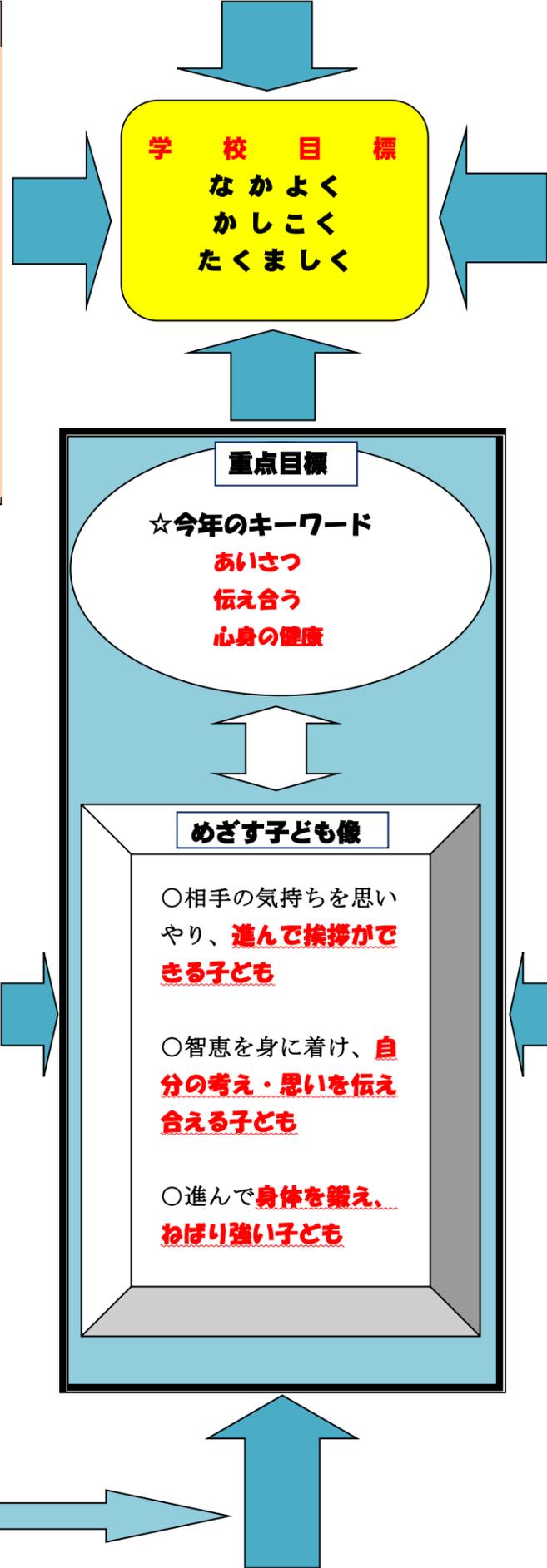


平成 29 年度 永田小学校 グランドデザイン

学校教育目標
知性と感性に富み、心身ともに健やかな児童の育成を願って

学校長の願い
 ～ふるさとを愛し誇りに思い、智慧のある子ども～
 ☆「子どもにとって楽しい学校」「子どもにとって魅力ある教育課程（カリキュラム）を進める学校」作りを全職員一致して推進する。
 ○地域の教育力を生かしたコミュニティースクール
 ○ふるさとを愛し誇りに思える教育活動の充実・・・高野辰之博士の生き方に学ぶふるさと学習・青い目の人形交流、伝統文化、伝統行事、食育 等
 ○基礎学力の向上・・・NRT 検査、外部検定（漢検）、PDCAを活用した小中連携授業改善、個々の力に応じたドリル学習、家庭学習の手引き活用による充実

地域の特徴
 ・斑尾山の南斜面に水田や果樹園が広がった豊かな自然に恵まれている。
 ・日本の原風景が色濃く残る地域で、学校に協力を惜しまない姿勢が随所に見られる。
 ・高野辰之博士の生誕地、また天正寺、真宝寺など古くから伝統文化の残る地域である。
 ・ふるさと「永田」を愛し誇りに思い、素直で、明るく元気な子ども ～地域の願い～



児童の実態

<なかよく>
 ○学年の枠を超えて、みんなで仲良く活動することができる。
 △表面上は仲良くしているが、真から相手を大切にしていない子もいる。
 △保育園から同じ人間関係のため、固定化された相手意識が見られる。

<かしこく>
 ○指示されたことや目標・課題に対しては、意欲的に取り組むことができる。
 △自分で考えようとせず、すぐ聞きに来ることが多い。自分なりの考えを持って取り組むことが苦手。
 △思いを伝え合うコミュニケーション力に個人差がある。

<たくましく>
 ○素直で明るく元気な子が多い。
 ○マラソン等により、体力テストの結果から、持久力はある。
 △敏捷性に課題がある。(集団球技等)
 △基本的な生活習慣に課題がある子がいる。

具現化にむけた重点活動

<重点1> あいさつのできる明るい学校（なかよく）
 ◎まず、職員からあいさつする。
 ◎PTAとも連携し、挨拶の響く学校運動を行う。
 ◎縦割り活動協同学習『永田っ子タイム』での異学年交流活動を年間通して位置づける。
 ◎児童会の各委員会が主体的に行う委員会活動や児童会祭りの開催。
 ○学区にある社会福祉施設との交流活動。
 ◎連学年での活動の場を増やす。

<重点2> 学び合う学校（かしこく）
 ◎永田小としての「家庭学習の手引きや学習の約束」を作成し、家庭と連携して定着を図り、書く学習をとり入れる。
 ○学年に応じた地域教材の実践や新たな素材・人材の発掘（永田人材バンク）。
 ○『授業がもっとよくなる3 観点』（県教委）を意識した授業の日常化と言語活動の充実。
 ○個別指導や反復練習を重視し、基礎基本の定着を図る。(週2回の個々の力に応じたドリル学習の充実と基礎学力向上)

<重点3> 働く場がある学校（たくましく）
 ◎一校一運動（マラソン・クロススキー）を年間を通して継続し、年2回のマラソン大会を行う。
 ○集団遊びの場（様々な球技ミニコート）の設定
 ○栽培活動で、地域の自然に親しむ学習を行う。
 ◎基本的な生活習慣の充実
 ・家庭学習の手引きに生活リズムも記述し、定期的に自分の生活習慣を見直す。

地域社会との連携

地域の教育力を生かして信州型コミュニティースクールの実施
 ・学校長の願いの実現のために、PTA・ボランティア・地域代表者・職員が連携できるよう「安全部」「ふるさと活動部」「学習・交流部」を組織する。また、それらの代表者からなる学校運営委員会を設置する。

学力の向上

- ・地域や保護者の願いによる学校教育活動の見直し
- ・子どもの考え・思いを大切にしたい問題解決学習による授業力の向上（一人1公開授業を教員全員が実施する）
- ・自立心を持った表現力の育成
- ・一人ひとりの力を伸ばすドリル学習の充実と、「家庭学習の手引き」を活用し、保護者と連携した家庭学習の充実（児童アンケート（11月）で「授業が分かり取り組める」を75%にする）

家庭との連携

- ・緊密に連絡を取り合い、懇切な相談に心がける。
- ・学校開放や授業公開を積極的に行う。
- ・学校の情報を、学校だよりや学級だよりなどで、家庭や地域にこまめに発信する。
- ・学校保健委員会で、健康上の諸問題を解決するための様々な取り組みを行う。↓
開かれた学校に

保小中との連携

統合を見据えた交流

- ・保小連絡会を中心に連絡を密接にする。1年生との交流を行う。（読み聞かせや遊び交流など）
- ・小中連絡会を中心に連絡を密にする。6年生と交流を行う。（小鮎祭や中学一日入学での交流活動など）
- ・統合を見据え、三校連携委員会を中心に学力向上や職員研修等を行う。
- ・統合を見据えた豊井小との学年毎の交流（全学年で）